脱炭素技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業(SHIFT事業)のうち、DX型CO2削減対策実行支援事業

No.	GAJ事業番号	代表事業者	支援対象工場・事業場	所在地	事業実施期間
1	5411003	東洋不動産株式会社	板橋本町ビル	東京都板橋区	単年度
2	5411004	東洋不動産株式会社	八丁堀東興ビル	東京都中央区	単年度
3	5411005	中嶋産業株式会社	本社工場	大阪府大阪市	単年度

【実施計画】

事業者名	東洋不動産株式会社		
事業場名	板橋本町ビル		
事業期間	☒ 単年事業	☐ 2ヵ年事業	
CO2排出量	参考年度	581	t-CO2
現状の課題 (改善項目)	<ul style="list-style-type: none"> 一部の部屋の換気について、現状は常時換気となっている可能性があるため、適切な換気量になるよう調節することで空調負荷の削減余地を検討する。 一部の照明について、現状は使用していない時間など不要時に点灯している可能性があるため、使用ルールの策定を含め運用改善を行うことで、消費電力の削減余地を検討する。 一部の空調について、現状は使用していない時間など不要時に使用している可能性があるため、使用ルールの策定を含め運用改善を行うことで、消費電力の削減余地を検討する。 		
DX型CO2削減対策 実行支援実施後の 設備対策実施方法	☐ SHIFT事業に応募して対策実施予定	☐ 他の補助金に応募して対策実施予定	☐ 自費で対策実施
	☒ 運用改善のみ		
SHIFT事業「省CO2型システムへの改修支援」に応募して対策実施予定の場合は、応募予定年度についても記入する。			【応募年度 年度】

【DXシステム計測の根拠・目的】

 入力セル（入力すると無色になります）

 プルダウンメニュー選択セル

 自動計算・自動転記セル

No.	対象設備・機器・システム名	対象数	計測・分析項目 (※2)	計測目的・根拠/改善したい項目・内容 (※3)	想定対策内容 (※4)	改善種別 (※5)	設備対策実施方法 (※6)	水平展開 (※7)	
DX シ ス テ ム に よ る 計 測 (※1)	1	8	電力	一部の部屋の換気について、現状は常時換気となっている可能性がある。適切な換気量になるよう調節することで、冷暖房時の空調負荷の低減を行い、消費電力量の削減・CO2排出量の削減を図る。	換気設備の換気量適正化 (換気抑制)	運用改善	換気設備の換気量適正化 (換気抑制)	可	
	2	1	電力	一部のエリアの照明について、現状は使用していない時間など不要時に点灯している可能性がある。使用ルールの策定を含め運用改善を行い、照明の使用時間の削減を行うことで、消費電力量の削減・CO2排出量の削減を図る。	照明の不要時消灯	運用改善	照明の使用ルール策定・ 不要時消灯	可	
	3	8	電力	一部のフロア・エリアの空調について、現状は人がいない時間など不要時に使用されている可能性がある。使用ルールの策定を含め運用改善を行い、空調の使用時間の削減を行うことで、消費電力量の削減・CO2排出量の削減を図る。	空調の不要時電源オフ	運用改善	空調の使用ルール策定・ 不要時電源オフ	可	
	4								
	5								

【実施計画】

事業者名	東洋不動産株式会社		
事業場名	八丁堀東興ビル		
事業期間	☒ 単年事業	☐ 2か年事業	
CO2排出量	参考年度	186	t-CO2
現状の課題 (改善項目)	<ul style="list-style-type: none"> 一部の部屋の換気について、現状は常時換気となっている可能性があるため、適切な換気量になるよう調節することで空調負荷の削減余地を検討する。 一部の照明について、現状は使用していない時間など不要時に点灯している可能性があるため、使用ルールの策定を含め運用改善を行うことで、消費電力の削減余地を検討する。 一部の空調について、現状は使用していない時間など不要時に使用している可能性があるため、使用ルールの策定を含め運用改善を行うことで、消費電力の削減余地を検討する。 		
DX型CO2削減対策 実行支援実施後の 設備対策実施方法	☐ SHIFT事業に応募して対策実施予定 ☐ 他の補助金に応募して対策実施予定 ☐ 自費で対策実施 ☒ 運用改善のみ		
	SHIFT事業「省CO2型システムへの改修支援」に応募して対策実施予定の場合は、応募予定年度についても記入する。 【応募年度 年度】		

【DXシステム計測の根拠・目的】

 入力セル（入力すると無色になります）

 プルダウンメニュー選択セル

 自動計算・自動転記セル

No.	対象設備・機器・システム名	対象数	計測・分析項目 (※2)	計測目的・根拠/改善したい項目・内容 (※3)	想定対策内容 (※4)	改善種別 (※5)	設備対策実施方法 (※6)	水平展開 (※7)	
DX シ ス テ ム に よ る 計 測 (※1)	1	空調設備	8	電力	一部の部屋の換気について、現状は常時換気となっている可能性がある。適切な換気量になるよう調節することで、冷暖房時の空調負荷の低減を行い、消費電力量の削減・CO2排出量の削減を図る。	換気設備の換気量適正化 (換気抑制)	運用改善	換気設備の換気量適正化 (換気抑制)	可
	2	照明設備	1	電力	一部のエリアの照明について、現状は使用していない時間など不要時に点灯している可能性がある。使用ルールの策定を含め運用改善を行い、照明の使用時間の削減を行うことで、消費電力量の削減・CO2排出量の削減を図る。	照明の不要時消灯	運用改善	照明の使用ルール策定・ 不要時消灯	可
	3	空調設備	8	電力	一部のフロア・エリアの空調について、現状は人がいない時間など不要時に使用されている可能性がある。使用ルールの策定を含め運用改善を行い、空調の使用時間の削減を行うことで、消費電力量の削減・CO2排出量の削減を図る。	空調の不要時電源オフ	運用改善	空調の使用ルール策定・ 不要時電源オフ	可
	4								
	5								